

文部科学省独立行政法人評価委員会
JAXA部会(第38回)ヒヤリング
ご質問への回答

平成24年7月20日

宇宙航空研究開発機構

Ⅱ.4.(2) 内部評価及び外部評価の実施

<質問事項(その1)> 地球観測衛星のミッション選定方法について

<回答>

○JAXAの地球観測衛星計画は、地球観測に関するハイレベルの国際的枠組及び我が国の方針・政策に基づきミッションが選定・位置づけられ、開発・運用されている。(参考1参照)

(国際的枠組)

- 「全球地球観測システム(GEOSS)10年実施計画」(平成17年2月第3回地球観測サミットにて採択): GEOSSの9つの社会利益分野うち、我が国は災害、気候、水の3分野に重点化。

(我が国の方針・政策)

- 「地球観測の推進戦略」(平成16年12月総合科学技術会議): 我が国が地球観測に取り組むに際しての今後10年を見通した推進戦略
- 「我が国の地球観測における衛星開発計画及びデータ利用の進め方について」(平成17年6月宇宙開発委員会地球観測特別部会): 「GEOSS 10年実施計画」を踏まえた地球観測衛星計画の設定。
- 「宇宙基本計画」(平成21年6月): 人工衛星による地球観測を行うシステムとして、「陸域・海域観測衛星システム」、「地球環境観測・気象衛星システム」を規定。

○各衛星の具体的な観測仕様の設定にあたっては、実利用機関や研究者の代表からなる委員会等を組織し、ユーザニーズを取り込んでいる。(参考2参照)

我が国の方針・政策

国際的枠組

G8エビアンサミット(平成15年6月)
日本(小泉純一郎首相)の提唱により、
地球観測サミットの開催を合意

地球観測サミット
第1回 平成15年7月 アメリカ
第2回 平成16年4月 日本
第3回 平成17年2月 ベルギー
「**全球地球観測システム(GEOSS)10年実施計画**」(2006~2015年)の策定

地球観測に関する政府間会合 (GEO)

- GEO閣僚会合(地球観測サミット)
- GEO本会合

9つの社会利益分野(災害、健康、エネルギー、気候、水、気象、生態系、農業、生物多様性)のうち、我が国は**災害、気候、水**の3分野に重点化して対応

宇宙開発委員会 地球観測特別部会
「**我が国の地球観測における衛星開発計画及びデータ利用の進め方について**」(平成17年6月27日)

「**全球地球観測システム(GEOSS)10年実施計画**」に沿った地球観測衛星計画を設定

総合科学技術会議
「**地球観測の推進戦略**」
(平成16年12月27日)

我が国が地球観測に取り組むに際しての考え方、戦略的に取り組むべき重点課題・事項等を整理し、利用要求を踏まえ、今後10年を見通した推進戦略を策定

科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
地球観測推進部会

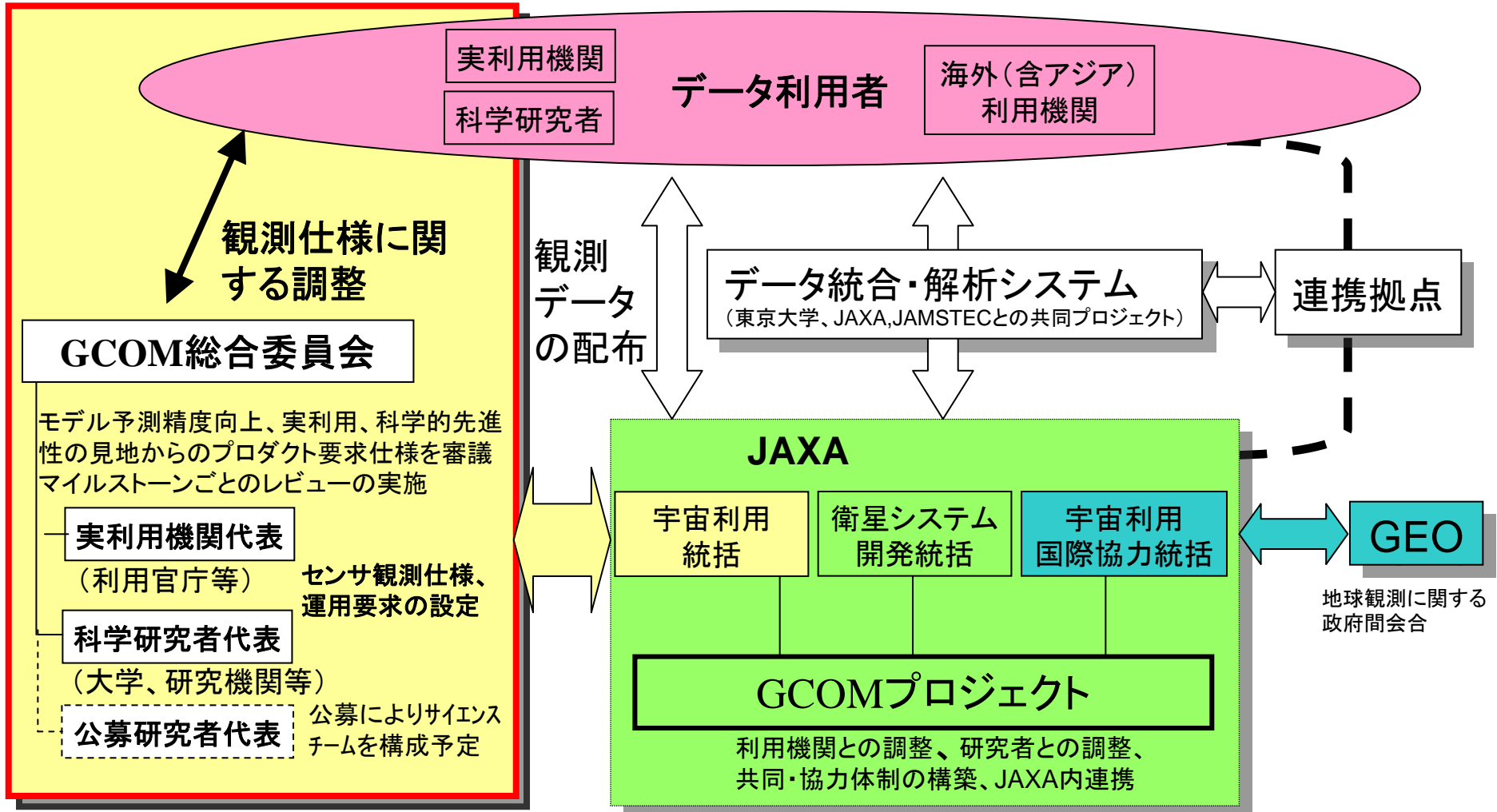
- 「地球観測推進戦略」に基づく「実施方針」の策定
 - 「実施計画」のとりまとめ
 - 事業の進捗状況調査
- 事務局:文部科学省 環境エネルギー課

宇宙基本計画(平成21年6月2日)

- A アジア等に貢献する陸域・海域観測衛星システム
- B 地球環境観測・気象衛星システム

JAXAの地球観測衛星計画
(ALOS、ALOS-2、ALOS-3、GCOM-W、GCOM-C、GOSAT、GPM/DPR、EarthCARE/CPR)

ユーザニーズの取り込み (「しずく」(GCOM-W)の例)



その他

<質問事項(その2)> JAXAにおける女性の登用について

<回答>

①新卒採用者における女性の占める割合

プロパー職員・新卒採用での女性採用割合(平成23年度実績)は約3割。

(新卒採用者35名中12名が女性。計算上は34.3%)

②女性職員数に関する目標値

「研究開発力強化法に基づく人材活用等に関する方針」(平成22年7月30日公表)において、JAXAの研究者等に占める女性研究者等の割合を平成26年度末までに10%以上を目指すとしている。

(参考:平成23年度末時点の同割合は8.1%。全研究者等1,408名のうち114名が女性)

③女性管理職の実際数値

平成23年度の女性管理職割合と人数は、実績で2.5%、8名(平成23年4月1日現在)。